

2024年11月20日
KHネオケム株式会社
(証券コード 4189、東証プライム)

KHネオケム、「第47回 日本分子生物学会年会」にて
ショートセミナー開催のお知らせ

KHネオケム株式会社(本社:東京都中央区、代表取締役社長:高橋 理夫)は、2024年11月27日(水)~11月29日(金)に福岡国際会議場、マリンメッセ福岡で開催される「第47回日本分子生物学会年会^{*1}」に参加いたします。会期中の11月28日(木)には、株式会社糖鎖工学研究所と共同で「抗体医薬品の糖鎖分析/Glycan analysis of therapeutic antibodies」をテーマに、バイテクショートセミナーを共催いたします。

近年、遺伝子工学や細胞工学技術の進展により、抗体医薬品をはじめとするバイオ医薬品の開発が急速に進んでいます。これに伴い、バイオ医薬品の品質評価は安定供給とさらなる開発においてますます重要な役割を果たしています。本セミナーでは、抗体医薬品の品質における重要な要素である糖鎖修飾に焦点を当て、糖鎖分析の具体的な手法やデータ解析に関する実践的な技術を紹介いたします。

- 本イベントは参加登録制です。[こちら](#)をご確認ください。
- 本セミナーへの参加は、福岡国際会議場1階に設置される「整理券配布デスク」にて当日朝8時より先着順で整理券を配布いたします。詳細は[こちら](#)をご確認ください。

<糖鎖について>

当社は、VISION 2030^{*2}の実現に向けて、「環境」「ヘルスケア」「エレクトロニクス」を戦略ドメインと定め、新規事業の創出を目指しています。ヘルスケアドメインにおいては糖鎖の可能性に注目し、これまで独自の糖鎖及び製造技術を開発してきました。

糖鎖は、生体内においてタンパク質や脂質に結合し、細胞表面や細胞中に存在しています。これらの糖鎖は生体内で起こる様々な生命現象に関与していることから、核酸、タンパク質に並んで「第三の生命鎖」と呼ばれています。

また、糖鎖は結合している物質の機能や安定性に影響を及ぼすことが知られており、さらに、細胞表面に存在している糖鎖は、細胞の接着や分化など様々な生命現象にも関与していることから、糖鎖の異常によって引き起こされる病気や疾患も数多く存在しています。そのため、生命現象の解明や新薬の開発など、生命科学の分野において糖鎖の研究開発が盛んにおこなわれています。

一方、糖鎖は、その構造の多様性から人工合成が難しく、大量かつ安定供給が学術の更なる振興と産業利用において課題となっています。当社は、独自の糖鎖製造技術を開発しており、様々な種類の糖鎖を大量かつ安定して供給することで、学術研究の振興と産業利用の加速を目指しています。

【イベント・セミナー概要】

イベント名	第 47 回 日本分子生物学会年会	
主催	日本分子生物学会	
開催期間	2024 年 11 月 27 日(水)～11 月 29 日(金)	
会場	福岡国際会議場、マリンメッセ福岡 A 館・B 館 https://www.marinemesse.or.jp/messe/access/	
申込方法	本イベントへの参加登録は以下をご確認ください。 https://www.aeplan.jp/mbsj2024/registration.html	
セミナー内容	演題番号	2BS-01
	演題題目	抗体医薬品の糖鎖分析 / Glycan analysis of therapeutic antibodies
	開催日時	11 月 28 日(木) 11:50-12:20
	会場	セミナー会場1(マリンメッセ福岡 A 館 1階)
	席数	40 席
	プログラム URL	https://www.aeplan.jp/mbsj2024/biotech.html
企業 URL	・株式会社糖鎖工学研究所 https://www.glytech.jp/ ・KHネオケム株式会社 https://www.khneochem.co.jp/	

■糖鎖について

<https://www.khneochem.co.jp/solution/features/glycans/>

■KHネオケムの糖鎖 GlyMuch™について

<https://www.khneochem.co.jp/solution/features/glycans/service/>

※1 「第 47 回日本分子生物学会年会」について

<https://www.aeplan.jp/mbsj2024/index.html>

※2 「VISION2030」について

<https://ssl4.eir-parts.net/doc/4189/ir-material-for-fiscal-ym/56482/00.pdf>

【KH ネオケムについて】 ※2023 年12月末時点。

社名	KHネオケム株式会社	
代表	代表取締役社長 高橋 理夫	
設立年	2010 年 12 月(前身の協和油化は 1966 年 11 月設立)	
資本金	8,855 百万円	
本社	東京都中央区日本橋室町二丁目3番1号	
従業員数	連結831名	
事業内容	各種石油化学製品の研究・製造・販売	
主要製品群	機能性材料(冷凍機油原料・化粧品原料など) 電子材料(半導体およびフラットパネルディスプレイ用高純度溶剤など) 基礎化学品(塗料インキ用溶剤・プラスチック用可塑剤原料など)	
グループ会社	黒金化成株式会社／株式会社黒金ファインズ／KH Neochem Americas, Inc. ／晟化(上海)貿易有限公司	
沿革	1948 年	協和産業(後の協和発酵工業)が、日本で初めて発酵法により、糖蜜からアセトン・ブタノールの大量生産を開始
	1949 年	協和発酵工業設立(現:協和キリン)
	1966 年	協和油化設立(協和発酵工業の化学品製造子会社)
	2004 年	協和油化に協和発酵工業の化学品事業を統合し、協和発酵ケミカル発足
	2010 年	協和発酵ケミカルの全株式の取得及び合併を目的としてケイジェイホールディングス設立
	2011 年	協和発酵ケミカルが協和発酵キリングループから独立 協和発酵ケミカルとケイジェイホールディングス合併
	2012 年	協和発酵ケミカルからKHネオケムへ社名変更
	2016 年	東京証券取引所市場第一部に上場
	2019 年	本社を現住所に移転 オープンイノベーション拠点 KH i-Labを開設
	2022年	東京証券取引所の市場区分見直しに伴い、プライム市場へ移行

【本件についてのお問い合わせ先】

◆報道関係者からのお問い合わせ先

KHネオケム株式会社 広報・IR 部
TEL:03(3510)3579 FAX:03(3510)3571
東京都中央区日本橋室町二丁目3番1号
<https://www.khneochem.co.jp/>

◆上記以外の方からのお問い合わせ先

KHネオケム株式会社 イノベーション戦略部
TEL: 03(3510)3600